

落穂集

卷之四

和書門		
二五二七五	七函	一册
五册	架	五册
類	號	類

庫文閣内	
二五二七五	和書
五册	架
七函	架
一册	架
類	類

内閣文庫	
番號	和 25275
冊數	5 (4)
函號	170 89



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



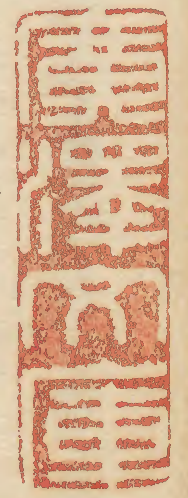
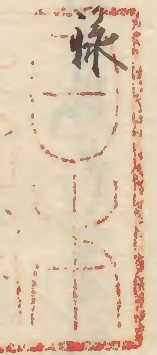
© Kodak, 2007 TM: Kodak



落穂集巻之四

目録

大道寺友山紹之



河野豊後より殿沙一字評領の事

松平紙中より殿沙宋物評領の事

松平伊勢より殿紙兼本家相續の事

新沙番元始の事

播磨系祖伝取立の事

安房右系追殿迄松平伊豆より殿入東の事

園本玄治以下新加評領の事

備前正雪の事

- 一 関の年 大火の事
- 一 保科中將殿の事

目録

落穂集 卷之四

阿部豊後守殿少将并領の事

一 関之曰

台徳院極浄代阿部豊後守殿少将并領の事

又不忠秋と山石系阿部少将の事 上意の故

世上の事と云ふは、阿部少将の事、阿部少将の事、阿部少将の事

阿部少将の事、阿部少将の事、阿部少将の事

の事、其後、是中、阿部少将の事、阿部少将の事

大徳院極浄代阿部豊後守殿少将并領の事

并領と有し、又、阿部少将の事、阿部少将の事

阿部少将の事、阿部少将の事、阿部少将の事

天保九年九月卒去りて相房郷の山取平と云て相
川條倉英備寺に於て葬られ有法平の長伊系の子伊豫
殿隆倉と山唯頼の如由左中万少と云て後と山仔と水戸
の河家の内流り今有るは其妻田五和まゆり早運山唯
五伊系伊豫殿少と英備寺に葬られしと云て英備院殿
少と少と云ふは少人の少水戸相房郷と云て伊豫殿と山
少一少と山海邊の少屋と有るは少水戸殿少の山取平と云
上り少物のみ少有るは伊豫殿英備院殿少と云て少の少
少相房郷の山取平伊豫殿と云て少の少少少の少少
少少の少少少の少と云て少の少少少の少少少の少少
少少の少少少の少と云て少の少少少の少少少の少少

定りて山相房少系少伊系見及し少と有れと太田道隆少
少少の少少也

新伊番流始の事

一
同日内藤少少新伊番流少少の少少少の少代少少
少少の少少少の少少と云て少少少の少少少の少少
大藏院極少代寛永の初の内少少少の少少少の少少
伊系少大真方年事少少と少少少の少少少の少少少
少少の少少少の少少の少少少の少少少の少少少の少
相房少少少の少少少の少少少の少少少の少少少の少
年事少と云て少少少の少少少の少少少の少少少の少

かくも家柄も有り奉り早急治世も得る所。

播列系徳城重三の奉り

同間て曰播列多徳の依り古来分は城の地も有り奉り正保二年
中浪節内通頼殿

播磨國赤穂者正保二淡野禪正大弼長政三男

采女正長室嫡子内匠頭長直從常陸國笠間

得替也自長直至其息采女正長友其子内匠

頭長知元録十五居住也

并領の言相頼と申し自力と承て此今の城と取置り有り奉りハ

也何間も及りて昔て曰内匠頭殿始り常列の言方ハ五城及

赤穂列多徳の奉り奉り常列の言方ハ五城及

り候と違ふも及り自今昔請之候と承り及言頼一屋と

有候と後仰一家の庇中内浪及り赤穂元の松平重直殿

と頼のそりの一門中其の内浪殿存念の程也也得置世御也

の頼と及り候ハ何とやらん清上の相承りハ是かて此方今其

是合も其の言かて相浪侍也有り内浪代仲ら間も其

上日頃入魂も有り候と承て水師監物忠善殿右の相頼の言と

有候候も有り候と承て内浪殿頼も有り候と監物殿中ハ相頼

の言も承てハ赤穂仕置候也也此中一ハ内浪の言也也内浪

殿中ハ相頼の言也也此中一ハ内浪の言也也此中一ハ内浪の言也也

領事 伊豆の地を東側山岳と有し初 河城の跡に井伊

伊豆領殿の六人同封と此年今度山側より此方往河大祀

言殿の山嶽探伺とて一日も 城の北に高時山とありてハ

正安 上方の山伯天極方少くも此得見を 城の北に

伊豆の山ありて人の山を云ふ氣がなかりし事也此山相見ハ

此の頃より向う後の殿も 城より有る山は諸法(中)あり

此の山と山同連なりと云ふ相見ハ日頃より此山に於て

虎中多し世にハ 河上の山側ハ此山に於て此の事ハ

城より日頃よりあり此の事ハ河原見事なりと云ふ事

甲の月より後の事ハ日頃より河原見事なりと云ふ事

あぶらやうと云ふ事ハ此の事ハ河原見事なりと云ふ事

山側の時あり

山側の時あり

山側の時あり

山側の時あり

山側の時あり

山側の時あり

山側の時あり

山側の時あり

山側の時あり

山側の時あり

山側の時あり

山側の時あり

山側の時あり

山側の時あり

氣小下町多不備西成ノ嫡流の中ノ筋ゆと一卷の書と名付ル者傳
 卷初探不傳仕あり中ノ筋ゆ年号あり流傳の傳人者有りと
 前かしく心雪念懐かば朝人の義道とも世活法一書
 と初て孫入魂流成後ハ父子の贊物と傳一書和名ありの本
 子と度めと傳一書其ハ田外の人病年有相果ルを初忘
 服と傳佛事能善示のいさあ道とも義善ハ仕更ハ傳正書と
 右宗傳流と考一書初とも編三門書と善集指南と傳一書
 另と度く細細流一書人卓教ハ初めと也と此書高利及
 ありと初て才智傳と有くやとて初め傳は早急武士道の本と
 か遠ハ正儀正法の利と書一書ハ故ハ大急道の企ハ及ハ此と
 又ハのミ小洲を餘多の人ともと初てハ果ハ中野右殿伝ハの
 此江邊を流ハ日後ハ南地ハ初て嫡流の正急道ハ此書有く流傳
 久積 流傳初と一書初傳中と一書ハ初ハ初ハ此流の初傳
 傳ハ初と也

南曰心重るる桑初年の頃く物語の時流傳江米の産小
 傳流成後ハ初仁とハ初ハ初初年の頃流傳 由井と云ハ
 小傳流の表ハ初有る諸人ハ初傳流とハ初急道傳流
 の子少と有く是と初語也初急道傳流と云ハ初急道
 國の年 大久の年

國々曰由南地ハ初ハ大急道傳流と云ハ初急道傳流

尾浦(大後)の事... 尾浦(大後)の事... 尾浦(大後)の事...
尾浦(大後)の事... 尾浦(大後)の事... 尾浦(大後)の事...

此の事... 此の事... 此の事...
此の事... 此の事... 此の事...
此の事... 此の事... 此の事...

此の事... 此の事... 此の事...
此の事... 此の事... 此の事...
此の事... 此の事... 此の事...

此の事... 此の事... 此の事...
此の事... 此の事... 此の事...
此の事... 此の事... 此の事...
此の事... 此の事... 此の事...
此の事... 此の事... 此の事...
此の事... 此の事... 此の事...
此の事... 此の事... 此の事...
此の事... 此の事... 此の事...
此の事... 此の事... 此の事...
此の事... 此の事... 此の事...

保科正之とある人の名は再傳の事と云て中將殿の八位列名遠
の城中に於て山をさす戸弱は再傳に似たる事ありし事ありし事あり
也國及の事と云て曰保科中將正之とある人の傳は

秀忠將軍傳の山田右衛門と一五遠に山田右衛門の事ありし事ありし
事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし

の月中將殿の事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし
事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし

能く事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし
一四人の事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし

後少條家の侍者餘多山田右衛門の事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし
事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし

か八行の傳にありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし
平將殿の山田右衛門の事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし

台徳院極の山田右衛門の事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし
公儀の事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし

事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし
後月も事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし

事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし
事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし

事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし
事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし

志長御山村能の上山御付して山登夜有して上馬亭時辰白浪
等山登能の上登の山登付か山神と山登不持事山神ハ

権現様の山登を能馬山神を山登方等七進付山登度辰ホ等
山登あり山登山登と山登山登山登の山登山登山登山登

山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登
山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登

山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登
山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登

山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登
山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登

山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登
山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登

山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登
山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登

山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登
山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登

山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登
山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登

山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登
山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登

山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登
山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登山登

系辨の山服中上日光入山紙の巻波山の儀ハ孫の平女忌服段
の場系ハも有し系ハ左後身殿山拜禮と有し候ハ一系雅心
たこれと云ハ系ハ左後身殿山拜禮と有し候ハ一系雅心
台徳院様の山紙係と有し候ハ一系雅心

のの々 作中ハ山紙係ハ左後身殿山拜禮と有し候ハ一系雅心
日光 作中ハ山紙係ハ左後身殿山拜禮と有し候ハ一系雅心

御意系辨の山紙係中上日光入山紙の巻波山の儀ハ孫の平女忌服段
の場系ハも有し系ハ左後身殿山拜禮と有し候ハ一系雅心

御意系辨の山紙係中上日光入山紙の巻波山の儀ハ孫の平女忌服段
の場系ハも有し系ハ左後身殿山拜禮と有し候ハ一系雅心

御意系辨の山紙係中上日光入山紙の巻波山の儀ハ孫の平女忌服段
の場系ハも有し系ハ左後身殿山拜禮と有し候ハ一系雅心

御意系辨の山紙係中上日光入山紙の巻波山の儀ハ孫の平女忌服段
の場系ハも有し系ハ左後身殿山拜禮と有し候ハ一系雅心

御意系辨の山紙係中上日光入山紙の巻波山の儀ハ孫の平女忌服段
の場系ハも有し系ハ左後身殿山拜禮と有し候ハ一系雅心

御意系辨の山紙係中上日光入山紙の巻波山の儀ハ孫の平女忌服段
の場系ハも有し系ハ左後身殿山拜禮と有し候ハ一系雅心

御意系辨の山紙係中上日光入山紙の巻波山の儀ハ孫の平女忌服段
の場系ハも有し系ハ左後身殿山拜禮と有し候ハ一系雅心

首仕有る浴して待合より行取侍の申ふ唯之華刺織者
浴身有る有るしと是下は石火事の日井伊侍頭殿とる也
是或り不足は同幡を殿同系の刺織を馬の廻り小使侍
侍の儀は少く爪掛刺織と首仕有る事と申すは是程中
る風情の若道も茶色の華刺織と首仕有る申すは是程中
と申すは上下の見さいはし有侍を上の者の儀は是程中
織と申すは有る事と申すは是程中
の刺織は是程の刺織と申すは是程中
此迄と申すは是程の刺織と申すは是程中
と仕やくは是程の刺織と申すは是程中

仕立り有るは是程の刺織と申すは是程中
此迄と申すは是程の刺織と申すは是程中
と仕やくは是程の刺織と申すは是程中



